

培った技術力で パートナーとともに 「クルマの未来」を 切り拓きます

変革の時代をチャンスと捉え

中期経営計画「22VISION」の2年目にあたる2019年度は、米中貿易摩擦や異業種参入に伴う競争激化の余波を受けつつも、新規車種向けワイヤーハーネスが受注を増やし、過去最高を記録した前年度を上回る売上を達成しました。しかし一方で、新興国を中心とした賃金の上昇によるコスト増や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による生産活動の停滞などの影響を免れず、減益を余儀なくされました。自動車業界の100年に一度の大変革といわれるCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）への対応に費やすコストの増大も、一因となっています。

一見難局のようにも思える現況は、同時にチャンスでもあると捉えています。収益効率の改善が必須とはいえ、CASE関連の設備投資と研究開発は、新たな時代の到来を見据えた将来への投資に他なりません。とりわけ、高速通信対応部品の需要増が見込まれるコネクテッド、さらにアルミワイヤーハーネスのほか、高速通信用コネクタ、電池配線モジュールなどの電動化に関わる独自の製品開発の進捗には、手応えを感じています。

顧客・サプライヤーと手を携え合って

現状に満足せず、さらなる対応にも取り組んでいます。「22VISION」の実現に向けて掲げる「モノづくり力の強化」「開発力・提案力の強化と製品化のスピードアップ」「人材・組織力の強化」の基盤となる企業体質・収益力の向上は不可欠です。また、新領域の研究開発を加速させるうえでも、住友電気工業(株)、関連企業の(株)オートネットワーク技術研究所と三位一体で臨む独自の体制でより効率化・加速化し、シナジー効果を発揮させます。

新型コロナウイルス感染症による経済への影響が長期化・深刻化する懸念がある中、顧客・サプライヤーと手を携え合って苦境を乗り越えていくことも重要です。顧客に密着したコンセプトイン活動はもちろん、ビジネスパートナーであるサプライヤーへの支援も実施しながら信頼関係を深め、強固なサプライチェーンの確立に努めています。

CSR活動を通じてありたい姿の実現へ

ワイヤーハーネスをコアとするメガサプライヤーをめざす当社グループは、世界31カ国に拠点を構えるグローバル企業です。多様なバックグラウンドを持つ約23万人の従業員が一つの企業体として団結し、グループ全体として持続的な発展を遂げ、社会の要請に応えていくためには、価値観の共有が不可欠です。その一つの指針がCSR活動を通じた3つのありたい姿（「世界同一最高品質」「信頼、親しみ、身近」「地域とともに生きる」）です。そしてこの重要な指針を体現する原動力となるのが、他でもない従業員です。

私たちは一人ひとりの健康は活気ある企業の源そのものという考えの下、2020年4月に「住友電装グループ健康宣言」を制定しました。健康経営の観点から従業員一人ひとりとコミュニケーションを密にとり、それぞれが健康意識を高められるよう、個々の健康保持増進をサポートしていきます。同時に「安全は全てに優先する」という事業経営の基本に立ち返って、労働災害ゼロを至上命題にルールの徹底や啓発活動に勤しみ、生産性の向上をめざします。

また、三重県四日市市で創業して103年を数える企業へと成長を遂げた当社が、授かった恩恵を地元へ還元するのは企業市民としての責務です。四日市市の女子ラグビーチームへの支援やアスリートの雇用支援、障がい者支援活動、各種イベントへの協賛といった多岐にわたる地域活動に積極的に参画しているのも、当然の帰結と言えるでしょう。もちろん、国内外のさまざまな拠点でも地域社会との共存共栄を視野に入れた活動を展開しています。

自動車産業に関わる企業として、CO₂排出量削減をはじめとした、環境負荷低減に寄与する取り組みにも注力しています。三位一体で開発した世界最高水準のアルミワイヤーハーネスは、自動車の品質向上と同時に車体の軽量化と燃費抑制を実現するという、いわば地球環境問題への挑戦です。

「つながる」という原点を礎に

変化のめまぐるしい時代だからこそ、従業員一人ひとりがグローバルに展開する住友電装グループの一員としての責任と使命、グループ全体が地球環境に及ぼす負荷の大きさを自覚し、世の中のニーズを的確かつ機敏に察知して事業活動に反映させていかなければなりません。これが、かねてより標榜する「世界で一番動きがいのある、活力ある会社」の実現につながります。

住友電装グループの基本理念「Connect with the Best」には「製品が担う接続の役割だけでなく、私たちを取り囲むあらゆるつながりを、最良の方法でどこにも負けないものにする」という想いが込められています。

我々の原点は「つながる」ことにあります。これまで培ってきた技術力とモノづくり力を存分に発揮してクルマと人・社会をつなげることでさらなる利便性を追求し、まだ見ぬクルマの未来を切り拓いていく。それによってサステナブルな社会の実現に貢献できる企業であり続けるべくまい進してまいります。

住友電装株式会社
代表取締役 執行役員社長

川井文義